

# 一日も早い復興に全力

静岡・小山町、神奈川・山北町

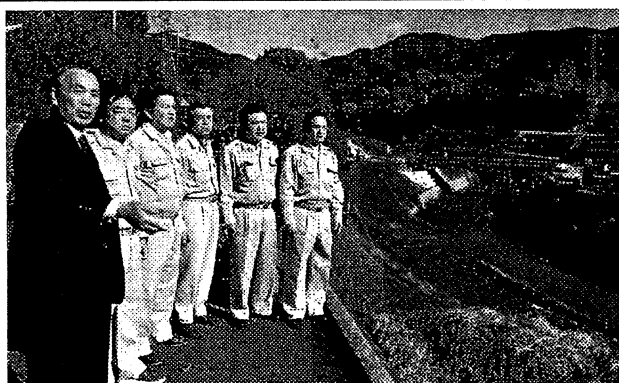
## 豪雨被害現場の実態を調査

党神奈川県議団

公明党神奈川県議団（藤井深介団長）は先ごろ、9月初旬の台風9号により、静岡県小山町と神奈川県山北町で発生した豪雨災害の被災現場などで、復旧状況などを調査した。

初めに訪れた小山町役場で一行は、担当職員から被害の概要について説明を受けた後、同町内の被災現場を視察。このうち、酒匂川の上流域の河川に流入して堆積した土砂を除

去するための作業により、下流域の水が茶色く濁ってしまう状況を確認した。山北町では、流木などの除去作業、土砂崩れや護岸が崩壊した現場などを視察。また、町



役場では対応した担当職員から、「今後さらに

ある県水産技術センター相模湾試験場を訪

静岡県小山町で、酒匂川の濁水による川底に堆積した土砂の除去作業現場を視察する党神奈川県議団  
必要となる残土処理の経費について県に支援してほしい」との要請を受けた。  
この後、一行は小田原市内にある県水産技術センター相模湾試験場を訪れ、酒匂川の濁水による漁業への影響について職員と意見を交換。この中で、来春のアユの遡上や育成に影響が出る可能性があることや、相模湾のヒラメやアワビ、サザエなどの漁にも、どんな影響を及ぼすか分からない懸念があることが判明した。  
党県議団は今回の調査結果を踏まえ、一日も早い被災地の復興と酒匂川の濁水対策などに、全力を挙げて取り組む方針だ。